

# 同窓会報

発行所  
倉敷市有城787  
住所 岡山学院大学・  
発行者 岡山短期大学同窓会  
岡山短期大学同窓会  
TEL: 086-428-2651  
発行日 令和8年5月

## 巻頭言

### 岡山学院大学・岡山短期大学同窓会新名誉会長に 大山正史先生をお迎えして



同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より母校の発展のために温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、大山正史先生を新たに学園理事長ならびに岡山学院大学・岡山短期大学学長としてお迎えし、新たな「建学の精神」(①国際交流を通じた世界平和への貢献 ②少子高齢化に対応する教育を通じた地域社会および日本への貢献 ③学園に集うすべての人々の物心両面における幸福の追求)のもと、キャンパスの立地する有城の丘を国際的交流・貢献・福祉の拠点へと発展させることによって学園を再生していく取り組みが本格的に始まりましたので、ここにご報告申し上げます。

大山正史先生は倉敷市の名市長であった大山茂樹氏ゆかりの方であり、東京大学でフランス文学を専攻、パリ・ソルボンヌ大学に国費留学されました。帰国ののちは吉備国際大学教授、同・社会学部長を歴任、現在は市内に倉敷外語学院、東京に東京国際外語学院を経営され、国際的交流・教育・貢献の世界においては次世代リーダーとして高く評価されており、世界最高峰の経済・金融紙であるWSJ(ウォール・ストリート・ジャーナル)の取材を受けました。

本学園は、岡山学院大学と岡山短期大学の二つの機関を併設し、長年にわたり多くの有為な人材を社会に送り出してまいりました。各界で活躍される同窓生の皆様の姿は、母校の歴史と伝統を体現するものであり、在学生や教職員にとっても大きな励みとなっております。しかしながら、少子化の進行や高等教育を取り巻く環境の変化、さらには厳しい経営状況を踏まえ、目下、経営基盤の強化と教育体制の再構築を進めている最中で、令和8年10月8日の理事会において大山正史先生を理事長に選任し、続く11月21日の理事会において学長に就任いただき、新体制のもと改革が着々と進んでいます。この度、60年以上にわたり栄養士養成、20年以上にわたり管理栄養士養成を担ってきた歴代の本学園食物栄養系学科の系譜を引く「岡山学院大学デジタル生活学部フードマネジメント学科」(管理栄養士養成課程)につきましては、令和8年度入学者5名(日本人1名・外国人留学生4名)をもって学生募集を停止することが決定されました。近年、特に昨年の学生募集状況を踏まえた新経営陣による苦渋の決断でありますので、同窓生の皆様におかれましては何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。これまで栄養士及び管理栄養士養成教育に多大なるご支援をいただきましたことに改めて深甚なる感謝を申し上げます。

## 第71回同窓会総会懇親会

令和8年7月12日(日)

倉敷国際ホテル 午前11時～

※詳細は次のページをご覧ください。



さて本学園はこの度の変化を新たな発展の契機と捉え、当面は岡山短期大学幼児教育学科を基盤とした教育体制の充実を図るとともに、外国人留学生の積極的な募集による経営基盤の強化を経営方針といたします。まず令和9年4月開設を目指して「岡山学院大学附属日本語学校」の設置準備を進めております。さらに介護分野における外国人材の活躍が不可欠となりつつある日本社会への対応として岡山県との連携を強化しながら令和10年4月には介護福祉専門学校の開設を、また令和11年4月にはIT大国インドから優秀な人材を招いて岡山学院大学にIT学部の開設を計画しております。キャンパスの立地する有城の丘を中心に倉敷市の南部一帯を「多文化が息づき世界に開かれた地域」「世界のシリコンヒルズ」として発展させ、地域だけでなく日本全体の成長にも寄与していくという壮大な構想のもと学園は新たな挑戦を続けてまいります。

同窓生の皆様が本学園で培われた学びや経験を各分野で発揮され、社会でご活躍されていることこそ母校の何よりの誇りであります。時代の流れの中で母校の姿は刻々と変化してまいります、皆様と本学との絆は不変であり、むしろ新たな形でより深まっていくものと確信しております。同窓会は、卒業生相互の親睦を深め、母校と社会をつなぐ重要な架け橋としての役割を担っております。今後も同窓会報において、各地でご活躍の同窓生の皆様の近況や取り組みをご紹介します、新たな交流の契機となることを願っております。世代や分野を超えたつながりが生まれることで、母校のさらなる発展にも寄与すると確信しております。

結びに、同窓生の皆様のますますのご健勝とご多幸、ならびに各分野での一層のご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも本学園および同窓会活動への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(同窓会報編集部)

## 同窓会総会・懇親会と同期会のお知らせ

第71回同窓会総会は、来る令和8年7月12日(日)の午前11時から倉敷国際ホテルに於いて開催されます。今年は「8」がつく年の卒業生の方々が準備会の当番です。総会・懇親会は毎年有意義に楽しく進めております。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 1. 日 時

令和8年7月12日(日)

総会 11:00～12:00 懇親会 12:00～14:00

### 2. 場 所

倉敷国際ホテル 桜花の間

倉敷市中央1丁目1-44 (JR倉敷駅から徒歩11分)

TEL: 086-422-5141



※会場に専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

### 3. 総会次第

- (1) 令和7年度事業報告並びに決算報告
- (2) 監査報告
- (3) 令和8年度事業計画(案)並びに予算(案)
- (4) その他

### 4. 懇親会

総会終了後、引き続きその場で行います。美味しい食事を頂きながら、楽しくお過ごしください。

### 5. 参加費および申込方法

参加費 8,000円(新入会員 令和8年3月卒業者のみ4,000円)

申込方法 参加希望の方は、同封の郵便振替の払込取扱票により、会費をお振込みください。アレルギー等でお召し上がりになれない食材がございましたら払込取扱伝票の通信欄へご記入ください。可能な限り配慮させていただきます。

申込期限 令和8年6月12日(金)

申込キャンセル 6月26日(金)17時00分までに、下記のお問い合わせ先まで必ずご連絡をお願いいたします。期日までにご連絡が無い場合は欠席の場合でも参加費のご返金は出来ません。

### 6. お問い合わせ先

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会事務局

〒710-8511 倉敷市有城787 TEL: 086-428-2651

同窓会総会・懇親会に参加される方は同期会を開催していただくことが可能です。詳しくはお問い合わせ先までご連絡ください。



### 令和7年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		大山正史
会長	昭和42年	保	中塚志津子
副会長	昭和58年	幼	平松弘子
	昭和58年	幼	吉井理恵
常務理事	平成29年	食	奥野楓
	令和7年	食	伊藤大貴
理事	昭和41年	保	森上敏子
	昭和62年	幼	高岸益子
	平成18年	幼	村上太志
	平成18年	幼	横山圭祐
	平成20年	食	平野聡
	平成24年	食	黒明明子
監事	令和5年	幼	久保美乃梨
	昭和52年	幼	西早苗
	平成15年	幼	木村太郎
	平成24年	食	岡部麻耶

### 令和7年度 本部便り

#### 第1回理事会(令和7年5月22日)

- 令和6年度事業報告および収支決算について、協議の上決定された。
- 令和6年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 令和7年度事業計画案および予算案について、協議の上決定された。

#### 第2回理事会(令和7年6月26日)

- 第70回同窓会総会・懇親会の役割分担を行った。
- 第70回同窓会総会・懇親会配布資料について、協議の上、一部修正を加え決定された。

#### 第3回理事会(令和7年12月5日)

- 第70回同窓会総会・懇親会の報告および決算について報告があり、その後反省が行われた。
- 第71回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程に

ついて協議され、令和8年7月12日(日)に倉敷国際ホテルにて開催することが決定した。

- ICTリテラシー教育のための拠金を学校運営発展基金へと名称を変更することが決定された。
- 岡山学院大学岡山短期大学A棟・B棟のトイレ修繕のため約800万円を定期預金より寄付することが決定された。
- 岡山学院大学岡山短期大学学長の交代に伴い、令和7年12月より本同窓会名誉会長に大山正史氏が就任することとなった。また、これに伴う役員改選も行った。

### 第70回同窓会総会記録

令和7年7月6日(日)倉敷ロイヤルアートホテル(フィレンツェ)にて、卒業年の末尾に「7」のつく方々の運営で同窓会総会・懇親会が開催された。今年は、原田俊孝学長をはじめ、他7名の先生方のご出席をいただいた。

#### 【第70回 同窓会総会】

- 開 会 司会：平松弘子副会長、吉井理恵理事
- 会長挨拶 中塚志津子会長
- 名誉会長挨拶 原田俊孝学長
- 学園長挨拶 原田博史学園長
- 花束贈呈式 原田博史学園長へ花束贈呈
- 来賓紹介 平松弘子副会長、吉井理恵理事より来賓紹介
- 物故者追悼(黙祷)
- 役員紹介 役員自己紹介
- 議長選出 藤原綾輝氏(令和7年幼)
- 議 事

(1)令和6年度事業報告並びに決算報告

奥野楓常務理事

- 理事会…年4回  
(令和6年5月、6月、12月、令和7年2月)の開催
- 第69回同窓会総会・懇親会の開催  
(令和6年7月7日(日))

- 同窓会報第44号発刊
- ICTリテラシー教育のための拠金(継続)
- ホームカミングデーに協力

(2)監査報告 西早苗監事  
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)令和7年度事業計画案並びに予算案 奥野楓常務理事

- ・理事会…年3回  
(令和7年5月、6月開催、12月開催予定)
- ・第70回同窓会総会・懇親会の開催  
(令和7年7月6日(日))
- ・同窓会報第45号発刊
- ・ICTリテラシー教育のための拠金(継続)
- ・ホームカミングデーに協力

9. 閉 会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

総会后、植愛帆さん(R7食物卒)、横山隆成さん(R7

食物卒)の司会進行で懇親会が始まりました。開会挨拶後、尾崎聡先生に乾杯をしていただき、懐かしい同級生や来賓の先生方と会話をしながら、美味しいお食事を楽しましました。余興は原田俊孝学長先生、令和7年食物栄養学科卒業有志の皆さん、令和7年幼児教育学科卒業有志の皆さん、昭和40年保育科卒業の山本一女さんに近況報告を、令和7年幼児教育学科卒業有志の皆さんによるオタマトーンでの演奏をいただき、会場は大いに盛り上がりました。最後には毎年恒例になっている〈大学校歌〉〈短大校歌〉を合唱し、赤木星さん(R7幼教卒)、浅野七海さん(R7幼教卒)の閉会挨拶により、第70回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

原田俊孝学長先生、原田博史学園長先生、久保豊子先生、佐藤幸枝先生、狩山玲子先生、山田治来先生、尾崎聡先生、都田修兵先生、ご出席ありがとうございます。次回もまたご出席いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければ幸いです。



R7 食物栄養学科卒



R7 幼児教育学科卒



S40 保育科卒



第70回懇親会 余興 原田俊孝学長と原田博史学園長



第70回懇親会 会席

## 岡山学院大学デジタル生活学部フードマネジメント学科 令和7年度卒業研究

内容は以下の通りである。

- |                                    |                        |
|------------------------------------|------------------------|
| 「グルテンフリーの現在と未来」                    | 比田勝美帆                  |
| 「食物アレルギーについて」                      | 田頭春乃<br>(研究指導：佐藤幸枝教授)  |
| 「外国人留学生とのパン作り教室～学生主体でつなぐ国際交流の輪～」   | 小西七桜                   |
| 「外国人留学生とパン作り交流」                    | 谷脇茉美<br>(研究指導：氏峰葉里講師)  |
| 「骨粗鬆症や他の病気とのカルシウムの関係性」             | 川野未悠                   |
| 「飢餓が人々に与える影響と管理栄養士・栄養士の役割」         | 田尾聡紫                   |
| 「大学生における自身の体型また摂食障害の意識調査」          | 藤岡遥                    |
| 「うどん文化と栄養バランス—副菜の選択による最適化—」        | 藤本希未                   |
| 「愛媛県における糖尿病と食物繊維摂取量の関係と地域特性に関する研究」 | 古崎萌絵<br>(研究指導：岡田只士講師)  |
| 「コラーゲンの経口摂取の効果の有無」                 | 小山輝                    |
| 「MBTIの科学的根拠について」                   | 中野伴生                   |
| 「がんの発生率と死亡率の関係について」                | 森本行晴<br>(研究指導：清水憲二教授)  |
| 「皿鉢料理におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理」      | 浜口大樹<br>(研究指導：狩山玲子教授)  |
| 「障害者と腸内」                           | 角田綺羅                   |
| 「高齢者の腸内細菌構成における日和見菌の増加と疾患リスク」      | 角田光祐                   |
| 「腸内環境とアサイーの関係について」                 | 竹内歩実<br>(研究指導：内田雅子准教授) |

## 岡山短期大学幼児教育学科 令和7年度「子どもといっしょに運動会」

令和7年5月23日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに運動会」が開催された。コロナ禍以後は団体を招待せず、近隣の未就園児と保護者等を中心に参加を募っている。当日は子ども7人、大人4人の参加があった。卒業生とその子ども、学生の家族や親類の親子などもチラシ等を見て来場して下さり、和やかな交流の場となった。

子どもたちは学生の工夫した各年齢別の種目に参加し、学生が演じる保育者の配慮や援助を受けながら競技を楽しんだ。以前に「1年生は主に子ども役を演じている」との報告をしたことがあったが、近年は2年生、1年生ともに保育者役に専念し、十分な学びとなっている。

プログラムは以下のとおりである。

1. 開会式
2. きんぎょ ぎょ ぎょ (2歳児)
3. あにまるぼーる (3歳児)
4. ハムスター大作戦 (4歳児)
5. わくわくアドベンチャー (5歳児)
6. ～休憩～
7. クロアリヤマト (2・3歳児)
8. わくわく!おつかいリレー (4・5歳児)
9. 走冷☆岡短生♡
10. 閉会式



## 岡山短期大学幼児教育学科 令和7年度「子どもといっしょに発表会」

令和7年12月5日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに発表会」が開催された。

近年は市内の園・施設からの来場予約や問い合わせが多く、園外に出かける活動を求めておられることがよくわかる。昨年はインフルエンザ等の波と重なり来場予約のキャンセルがあった。発表会に出かかることをとても楽しみにしていた園児たちもがっかりしたと伺っている。また、子どもたちの来場を楽しみにしていた学生たちも残念な気持ちであった。

今年度は子ども12人、大人8人の来場者があった。プログラムは以下のとおりである。

- ・開場から開会までは「遊びの広場」
- ・おはなしのコーナー (言葉ゼミ)
- ・図画工作のコーナー (図画工作ゼミ)
- ・開会宣言 (2年)
- ・主任教授挨拶 (尾崎)
- ・舞台 幼児ダンス「アロハエコモマイ／荒牧陽子・山寺宏一」(表現ゼミ1年)
- ・幕間 手あそび(公務員ゼミ1年)
- ・舞台 オペレッタ「ももたろう」(2年)

- ・幕間 手あそび(公務員ゼミ1年)
- ・舞台 幼児ダンス  
「NEW KAWAII／FRUITS ZIPPER」(表現ゼミ2年)
- ・幕間 手あそび(表現ゼミ1年)

- ・幕間 インタビュー
- ・舞台 オペレッタ「おおきなかぶ」(公務員ゼミ2年)
- ・閉会のあいさつ(2年)
- ・アーチでお見送り(2年・1年全員)



**岡山短期大学幼児教育学科  
令和7年度卒業研究発表会**

令和7年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は1月9日～1月16日の間で、それぞれのゼミにおいて、1年生後期の「卒業予備研究」以来の1年半にわたるゼミ活動を指導教員とゼミ生全員で振り返りながら行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。

**〔発表題目および発表内容〕**

- 発表題目：幼児の言葉を育てる保育者を目指して  
 発表者：後谷 玲奈、鈴木 伶奈、道満 桃菜、三宅 佑香  
 (指導教員：浦上博文(言葉ゼミ))
- 発表題目：Society5.0時代の造形表現活動への試み  
 —あそびのひろばでの実践から—

- 発表者：阿南 悠真、荒川 桃華、垣原 風里、河村 紗奈、高下畑 李來、田中 憂、田原 希望、壇上 彩花、根本 はるな、村上 愛咲

(指導教員：佐藤尚宏(図画工作ゼミ))

発表題目：身体表現活動に関する研究

—幼児ダンスに着目してIV—

- 発表者：北村 茉莉、白川 桜、竹原 沙織、富田 弥優、福山 陽毬、守山 優衣

(指導教員：吉田升(表現ゼミ))

発表題目：令和7年度公務員ゼミの取組

- 発表者：笠原 千咲音、佐藤 美桜、末原 瑠華、高橋 歩遥、田部 穂乃香、三木 璃音、宮口 友華

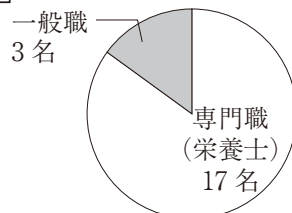
(指導教員：尾崎聡・都田修兵(公務員ゼミ))

**令和7年3月卒業生就職状況**

岡山学院大学

**人間生活学部 食物栄養学科**

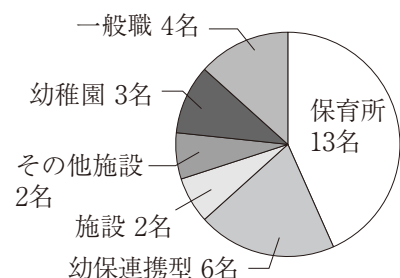
卒業者数	23名
就職希望者数	21名
専門職(栄養士)	17名
一般職	3名



岡山短期大学

**幼児教育学科**

卒業者数	32名	その他施設	2名
就職希望者数	30名	幼稚園	3名
保育所	13名	一般職	4名
幼保連携型認定こども園	6名	進学	1名
施設	2名		



1. 概要

- 岡山学院大学岡山短期大学後援会  
令和6年度理事  
(岡山学院大学 8名 岡山短期大学 4名)
- 設置する学校・学部・学科  
岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科  
岡山短期大学 幼児教育学科
- 当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況  
(令和6年5月1日現在)

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 76	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	76	
岡山短期大学	幼児教育 学科	年度 S33	人 40	人 110	人 69	H22 定員変更 150→100 R5 定員変更 100→70 R6 定員変更 70→40
	計		40	110	69	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	15	11	26
専任事務職員	0	7	6	13

兼任及び非常勤教職員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	6	3
非常勤教員	9	10

2. 事業の概要

- 当該年度の事業の概要・目的

事業	概要・目的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成 1,365,844円
無料通学バス 運行費用の助成	倉敷駅前(7番乗場) ～本学A棟前間の無料直行バス運行 (登校時2便・下校時3便) 令和6年度4～6月 運行日数 64日、 延べ 4,619人乗車 無料通学バス運行費用の助成 3,922,600円(4～6月分のみ)

岡山学院大学・岡山短期大学 ICTリテラシー教育のための拠金者一覧

(令和7年1月～令和7年12月の拠金者)

卒年	学科	氏名
昭28	家政	赤 沢 英 子
昭29	家政	金 井 貞 代
昭30	家政	二 宮 キヨミ
昭31	家政	坂 本 登志子
昭33	幼稚	谷 川 美 行
昭34	幼稚	虫 明 貞 子
昭36	保育	山 崎 久 子
昭37	保育	原 桂 子
昭38	家政	田 原 厚 子
昭39	保育	岩 田 典 子
昭39	保育	出 口 ヤ ウ
昭40	保育	山 本 一 女
昭40	保育	弓 場 則 子
昭41	保育	森 上 敏 子
昭42	保育	石 井 智代子
昭44	保育	信 藤 直 美
昭45	保育	宇 野 千恵子
昭45	食物	本 田 菊 代
昭46	幼教	多 田 英 子
昭46	家政	小 田 加代子
昭49	食物	近 藤 桂 子

卒年	学科	氏名
昭50	食物	楨 野 圭 子
昭51	家政	長谷川 耕 子
昭51	家政	若 原 節 子
昭52	幼教	安 井 啓 子
昭53	家政	細 美 文 枝
昭54	幼教	赤 松 圭 子
昭55	家政	大 塚 加代子
昭56	幼教	北 村 和 子
昭56	食物	山 本 智 子
昭58	幼教	難 波 佳 代
昭62	幼教	高 岸 益 子
平15	食物	増 川 広 美
平24	食物	井 上 紗央里
令6	幼教	根 師 菜 月

拠金内訳	
5,000円×27名	135,000円
10,000円×7名	70,000円
50,000円×1名	50,000円
合 計	255,000円

**岡山学院大学・岡山短期大学**  
**学校運営発展基金への御礼および拠金継続について**

母校のICTリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

さて、令和8年3月を持ちましてICTリテラシー教育のための拠金から学校運営発展基金へと名称を変更いたしました。ICTリテラシー教育のみならず学校運営全般に支援するための拠金として活用してまいります。また、本拠金では一千万円を目標に拠金を継続してまいりましたが、今後は目標金額を設けず、皆様からご支援をお願いすることとなりました。今後も皆様の温かいご支援をいただき、拠金を受付いたしますので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

なお、平成19年度に第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台〈3,000,000円〉)、令和元年度に第2回目の贈呈(図書館ノートPC5台〈669,600円〉)、令和2年度に第3回目の贈呈(栄養計算ソフト導入5台〈176,000円〉)を行っています。

**拠 金 総 額**

年 度	拠 金 額	振込手数料	累 計
平成 14 ～ 30 年度	6,509,624 円	39,280 円	6,470,344 円
令 和 元 年 度	196,000 円	0 円	6,666,344 円
令 和 2 年 度	229,000 円	0 円	6,895,344 円
令 和 3 年 度	55,000 円	0 円	6,950,344 円
令 和 4 年 度	180,000 円	0 円	7,130,344 円
令 和 5 年 度	361,000 円	0 円	7,491,344 円
令 和 6 年 度	325,152 円	0 円	7,816,496 円
令和 7 年度 12 月 現在	255,000 円	0 円	8,071,496 円
合 計			8,071,496 円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。拠金発起人一同

**令和6年度 収支決算書**

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
繰 越 金	10,415,579	会 議 費	445,652
当年度新入会員会費受入収入	1,100,000	交 通 費	86,768
翌年度新入会員会費	20,000	印 刷 費	1,018,436
総 会 費	240,480	通 信 費	1,110,549
50年の歩み冊子収入	0	慶 弔 費	0
拠 金 収 入	325,152	消 耗 品 費	2,112
関 西 同 窓 会 費	66,500	手 数 料 支 出	12,559
雑 収 入	5,640	関 西 同 窓 会 費	66,500
合 計	12,173,351	関 西 同 窓 会 手 数 料 支 出	1,166
		雑 費	0
		予 備 費	
中国銀行スーパー定期	6,000,000	次 年 度 繰 越 金	9,429,609
笠岡信用組合定期	5,000,000	合 計	12,173,351